

令和7年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

| | |
|-------|-----------|
| 区 名 | 旭区 |
| 学 校 名 | 大阪市立古市小学校 |
| 学校長名 | 佐保 一紀 |

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和7年4月17日（木）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・国語
- ・算数
- ・理科

(2) 質問調査

- ・児童に対する調査
- ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・古市小学校では、第6学年 70名

令和7年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語科の平均正答率は67%で、大阪市平均より2ポイント、全国平均より0.2ポイント上回った。特に、「(2)情報の扱い方」については、70%で大阪市平均と比べて8.5ポイント、全国平均を6.9ポイント上回っている。算数科においては、平均正答率が60%で、大阪市平均、全国平均ともに2ポイント上回った。学習指導要領の各領域の平均正答率は、大阪市・全国平均とほぼ同程度か平均を上回る結果となった。理科では、大阪市平均、全国平均を大きく上回る結果となった。特に「A区分のエネルギーを柱とする領域」では、大阪市平均より13.2ポイント、全国平均より10.4ポイント上回った。児童質問紙についても、肯定的な回答をする児童の割合は、全国平均を上回る結果が多くみられた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕「話すこと・聞くこと」については、本校の平均正答率が69%であったことに対して、全国平均66.3%、大阪市平均64%であった。話し合い活動に重点をおき取り組んだことが一定の成果として表れてきたと考えられる。しかし、漢字の正答率が低く、また無回答率が高いことが課題であった。

〔算数〕学習指導要領の5領域のうち3領域（「図形」「変化と関係」「データの活用」）の平均正答率において、全国・大阪市平均を上回る結果であった。デジタルドリル教材ナビマや算数ドリル等に継続して取り組み、基礎学力の定着を図った。また、専科教員と学級担任が協力し、個に応じた細やかに指導や支援を進めてきた成果と捉えている。

〔理科〕すべての区分・領域で大阪市平均、全国平均を大きく上回る結果となった。高学年になるにつれ、指導内容が高度になる中、専科による専門的な指導の充実を行っていることが、結果に結びついたと考えられる。

質問調査より

本校の課題である「自分にはよいところがある」という質問に対して、否定的な回答をした児童も一定数いたが、「あてはまる」と最も肯定的な回答した児童は52.8%で全国平均を2.1%上回っていた。「人が困っているときは、進んで助けていますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対しても全国平均を上回る回答となっている。昨年度から「ゆうゆうタイム」として、毎週たてわり班で遊ぶ異学年交流に取り組んでいる。リーダーとして活躍することで、責任感や思いやりの心が育ち、自尊感情の向上につながったのではないかと考えられる。

また、学習に関する質問では「勉強が好き」「授業の内容はよくわかる」と肯定的に割合は高く、学習に前向きに取り組む姿勢が調査結果から伺えた。

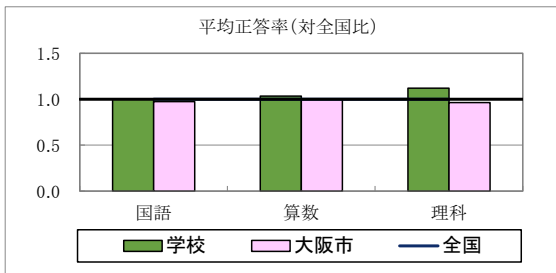
今後の取組(アクションプラン)

- ・本校の研究の重点である「話し合い活動」や「振り返り活動」を通して、自分の考えを深めたり広げたりすることができるような授業づくりを継続して進めていきたい。
- ・児童質問用紙のICTに関する質問「ICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができる」「プレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができる」という項目において肯定的な回答をした児童が多くいた。しかし、「5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか」という質問に対しては、否定的な回答をした児童が多く、授業の中でICT使用したという実感できていないことが原因として考えられる。児童が日常的に授業の中でICTを使用するためにも、教職員がICT活用の幅を広げながら、効果的なICT学習を進めていく必要がある。
- ・解答時間が足りなかったと感じている児童が多いことが、質問用紙から読み取れた。短時間で分析的な読みができるように、様々な文章や資料を読む学習場面の設定や、根拠を示しながら自分の意見を述べたり書いたりする機会の充実を図りたい。

【 全体の概要 】

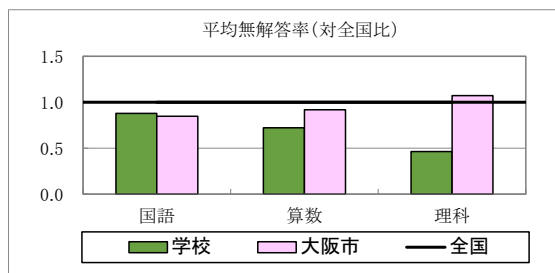
平均正答率（％）

| | 国語 | 算数 | 理科 |
|-----|------|------|------|
| 学校 | 67 | 60 | 64 |
| 大阪市 | 65 | 58 | 55 |
| 全国 | 66.8 | 58.0 | 57.1 |



平均無解答率（％）

| | 国語 | 算数 | 理科 |
|-----|-----|-----|-----|
| 学校 | 2.9 | 2.6 | 1.3 |
| 大阪市 | 2.8 | 3.3 | 3.0 |
| 全国 | 3.3 | 3.6 | 2.8 |



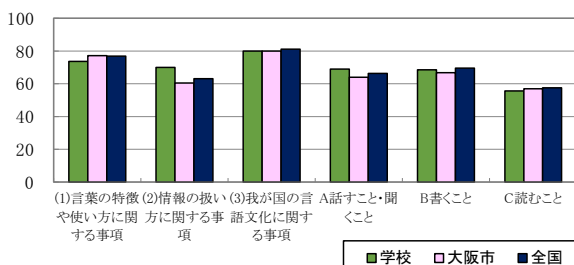
【 国 語 】

| 学習指導要領 の内容 | 対象 設問数 (問) | 平均正答率(%) | | |
|------------------------|------------------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| (1)言葉の特徴や使い 方に関する事項 | 2 | 73.6 | 77.1 | 76.9 |
| (2)情報の扱い方に 関する事項 | 1 | 70.0 | 60.4 | 63.1 |
| (3)我が国の言語文 化に関する事項 | 1 | 80.0 | 79.9 | 81.2 |
| A 話すこと・聞くこと | 3 | 69.0 | 64.0 | 66.3 |
| B 書くこと | 3 | 68.6 | 66.7 | 69.5 |
| C 読むこと | 4 | 55.7 | 56.9 | 57.5 |

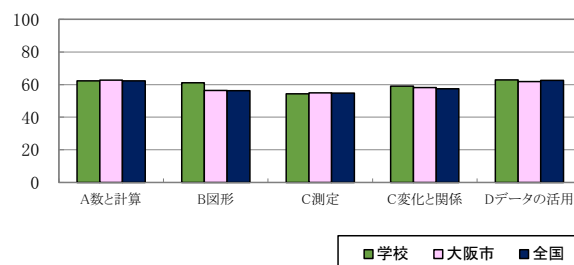
【 算 数 】

| 学習指導要領 の領域 | 対象 設問数 (問) | 平均正答率(%) | | |
|---------------|------------------|----------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 |
| A 数と計算 | 8 | 62.3 | 62.7 | 62.3 |
| B 図形 | 4 | 61.1 | 56.4 | 56.2 |
| C 測定 | 2 | 54.3 | 54.9 | 54.8 |
| C 変化と関係 | 3 | 59.0 | 58.2 | 57.5 |
| D データの活用 | 5 | 62.9 | 61.9 | 62.6 |

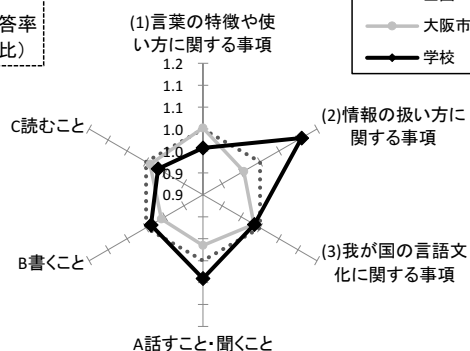
国語 内容別正答率(学校、大阪市、全国)



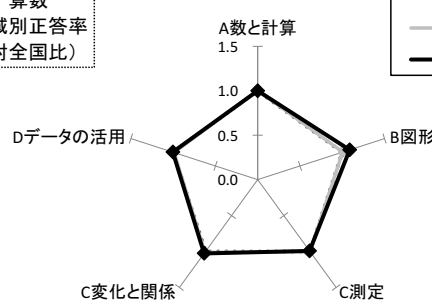
算数 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語
内容別正答率
(対全国比)

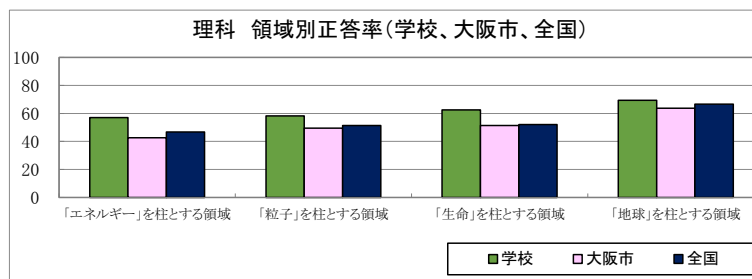


算数
領域別正答率
(対全国比)

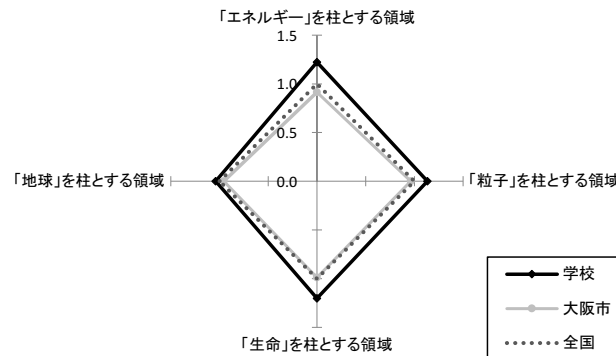


【 理科 】

| 学習指導要領 の区分・領域 | 対象 設問数 (問) | 平均正答率(%) | | | |
|------------------|--------------------|----------|------|------|------|
| | | 学校 | 大阪市 | 全国 | |
| A 区 分 | 「エネルギー」を 柱とする領域 | 4 | 57.1 | 42.7 | 46.7 |
| | 「粒子」を 柱とする領域 | 6 | 58.3 | 49.5 | 51.4 |
| B 区 分 | 「生命」を 柱とする領域 | 4 | 62.5 | 51.4 | 52.0 |
| | 「地球」を 柱とする領域 | 6 | 69.3 | 63.8 | 66.7 |



理科 領域別正答率(対全国比)



児童質問より

質問番号

質問事項

1

朝食を毎日食べていますか

1

2

3

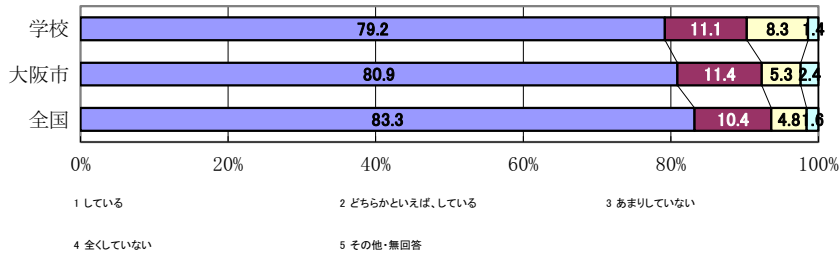
4

5

6

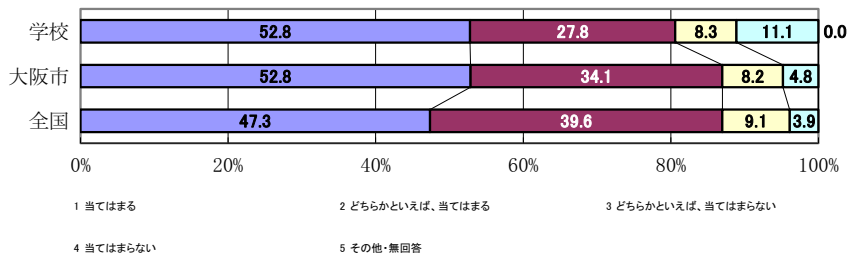
7

8



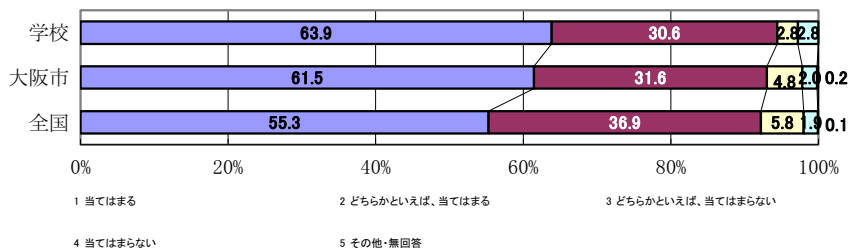
5

自分には、よいところがあると思いますか



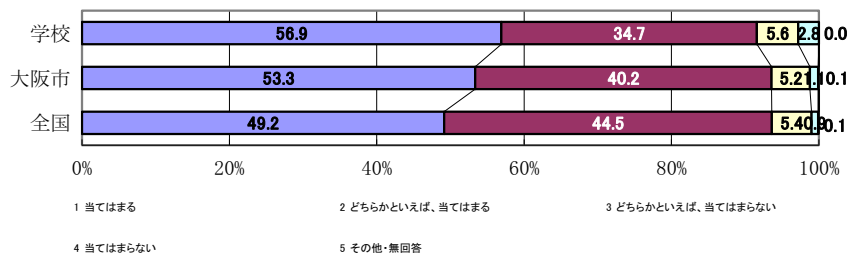
6

先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



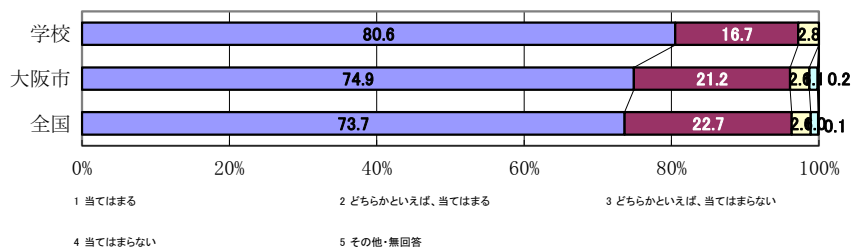
8

人が困っているときは、進んで助けていますか



11

人の役に立つ人間になりたいと思いますか



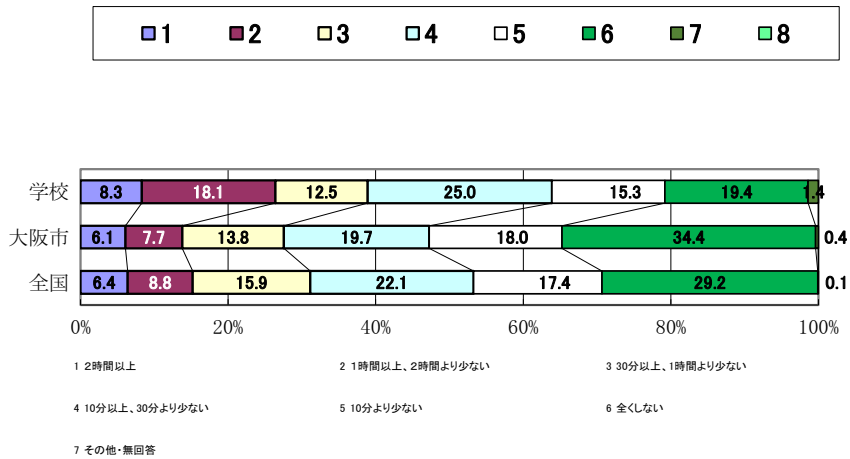
児童質問より

質問番号

質問事項

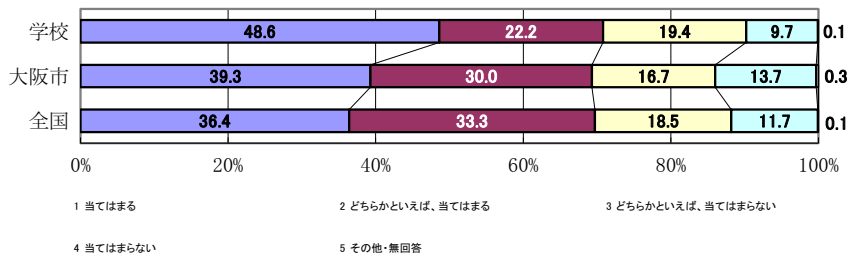
21

学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）



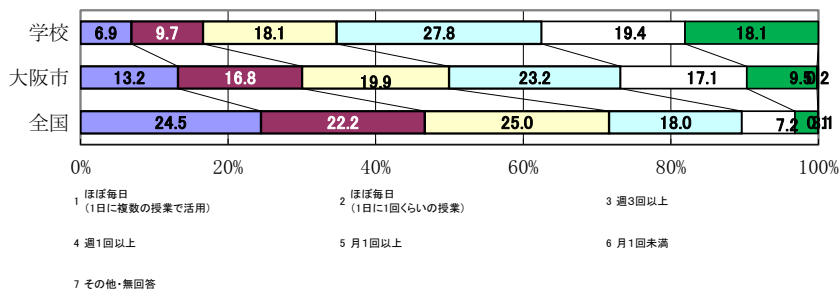
24

読書は好きですか



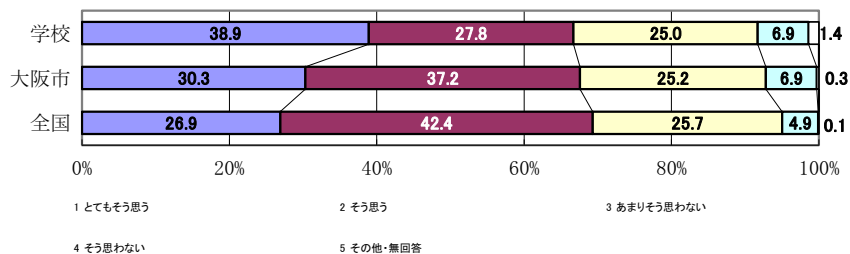
28

5年生までに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか



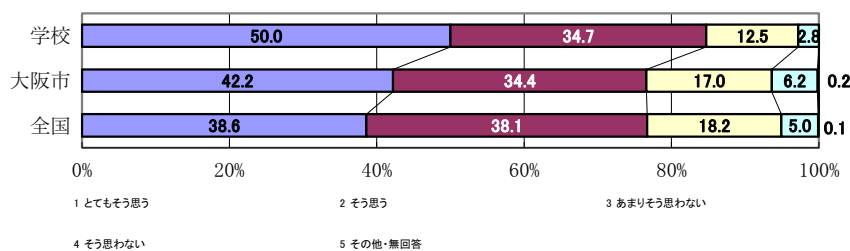
74

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどを使ってまとめる）ことができますか



75

あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って学校のプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができますか



児童質問より

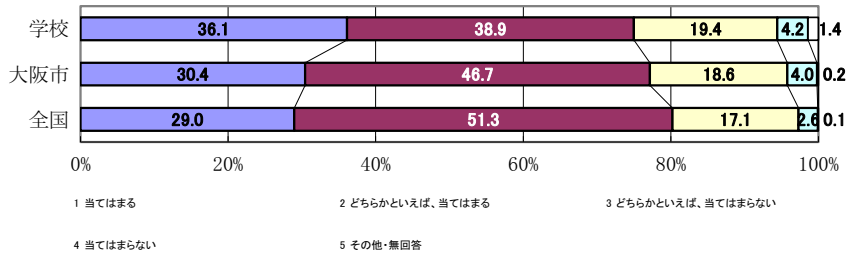
質問番号

質問事項

32

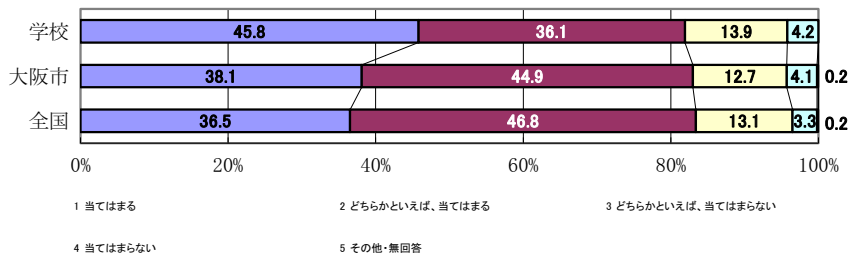
5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

1 2 3 4 5 6 7 8



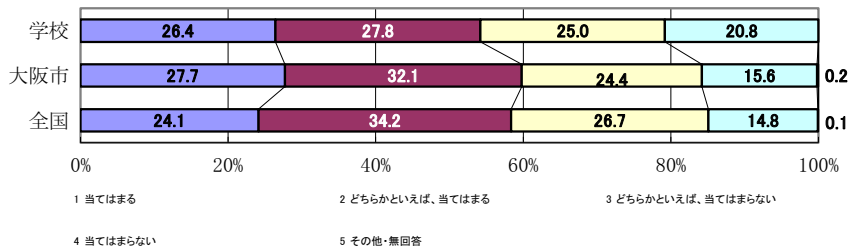
41

あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか



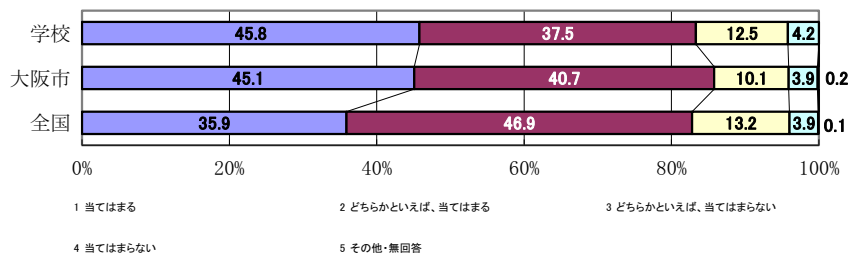
45

国語の勉強は好きですか



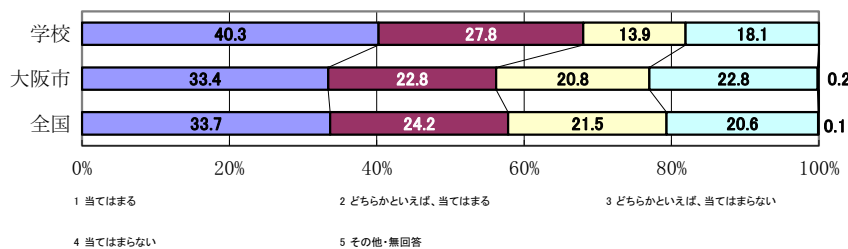
46

国語の授業の内容はよく分かりますか



53

算数の勉強は好きですか



児童質問より

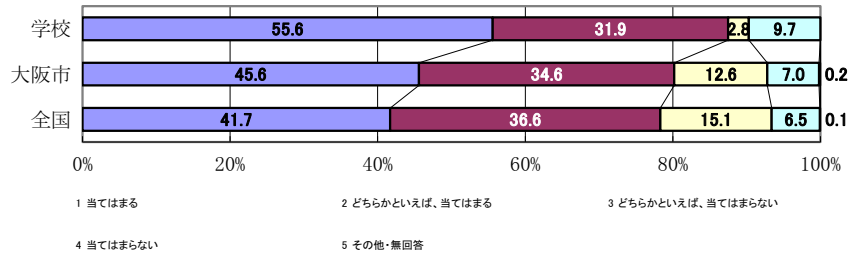
質問番号

質問事項

54

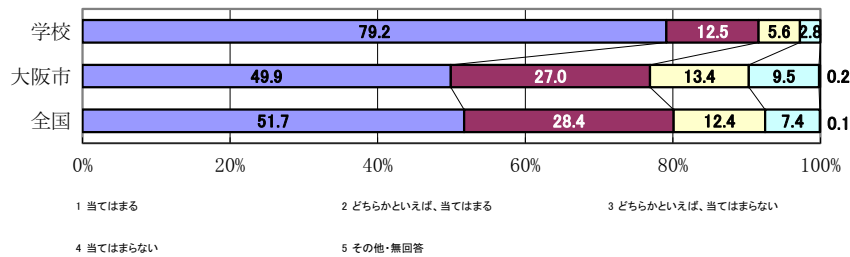
算数の授業の内容はよく分かりますか

1 2 3 4 5 6 7 8



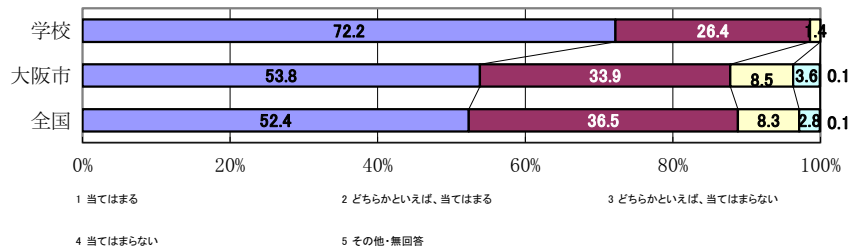
61

理科の勉強は好きですか



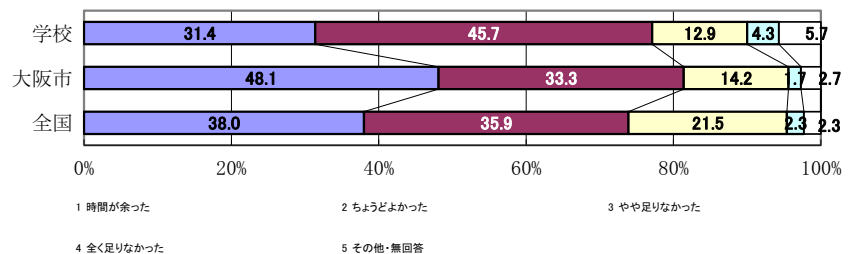
62

理科の授業の内容はよく分かりますか



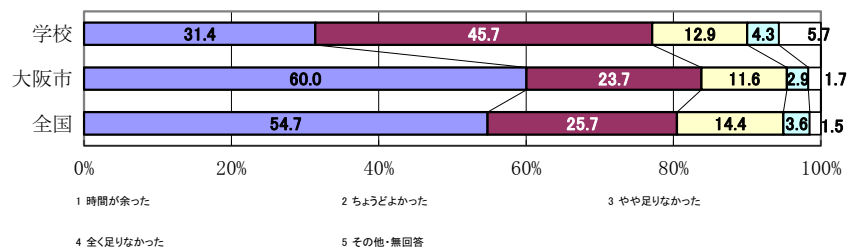
84

解答時間は十分でしたか(国語)



86

解答時間は十分でしたか(算数)



学校質問より

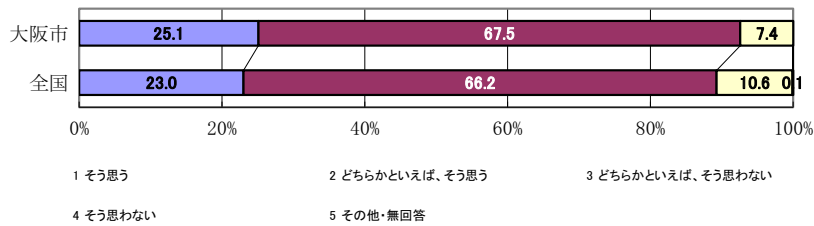
質問番号

質問事項

27

調査対象学年の児童は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを相手にしっかりと伝えることができていると思いますか

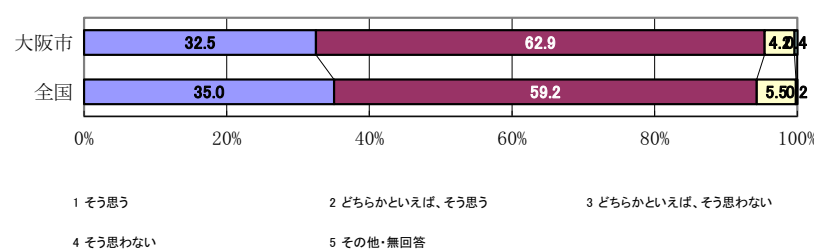
学校 「そう思う」を選択



28

調査対象学年の児童は、授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいると思いますか

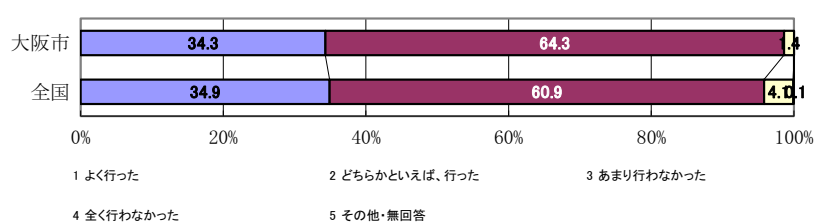
学校 「そう思う」を選択



43

調査対象学年の児童に対する国語の授業において、前年度までに、目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫して文章を書くことができるような指導を行いましたか

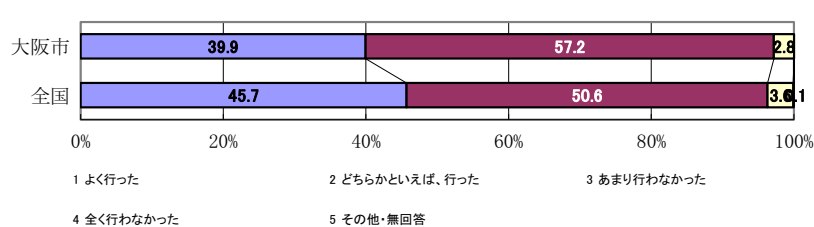
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



47

調査対象学年の児童に対する算数の授業において、前年度までに、問題の答えを求めさせるだけでなく、どのように考え、その答えになったのかなどについて、児童に筋道を立てて説明させるような授業を行いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



49

調査対象学年の児童に対する理科の授業において、前年度までに、自然の事物・現象から問題を見いだすことができる指導を行いましたか

学校 「よく行った」を選択

